

北海道電力七飯発電所の漏水に伴う現地営農支援対策本部会議(第1回) 議事録

日時 令和5年(2023年)6月23日(金) 11:00~11:40

場所 渡島平野土地改良区 2階会議室

出席者 別添「出席者名簿」のとおり

議題 1 これまでの経過
2 意見交換

議事 開会

- 北海道渡島総合振興局長)
 - ・ 大沼から取水した農業用水を利用している七飯発電所において漏水事故が発生し、渡島平野土地改良区管内の水田で取水が出来ない状況。
 - ・ まずは関係情報の共有を図ると共に、農業用水の確保に向けた取組み、生産者への技術的な支援などを含め、関係者の連携を密にして対応するため、対策本部会議を開催。
- 北海道農政部活性化支援担当局長)
 - ・ 通水の早期確保、生産者の不安の払拭に向け、関係機関、団体が情報共有を図りながら必要な対策の検討を進め、実行していくことが重要。
 - ・ 特に、北電においては、用水確保に向け、最大限の努力と情報共有をお願い。

これまでの経過

- 北海道電力株式会社水力部)
 - ・ 七飯発電所のかんがい放流停止について、多大なご迷惑や心配を掛けたことを深くお詫び。
 - ・ 渡島平野土地改良区、北海道開発局、北海道、関係自治体からの協力に感謝。
- 北海道電力株式会社函館水力センター)
(資料に基づき説明)
 - ・ 七飯発電所のかんがい放流設備からは、これまで最大4.5 m³/sの放水を行っていたが、現在、仮設ポンプの設置や発電所内のバイパス管等を活用し、約0.3 m³/sの水を供給中。
 - ・ 本日、0.5 m³/s程度を新たに追加供給し、今後、さらに0.4 m³/s程度を供給、合計としては約1.2 m³/sの水を供給できる見込み。
- 北海道電力株式会社水力部)
 - ・ 今後、取組みについては情報共有を進めるほか、可能な限り誠心誠意対応する。
- 北海道渡島総合振興局建設管理部)
 - ・ 河川取水について、道建設部と調整し昨日から取水を開始。

- ・ 現地において確認を実施中。
- 渡島農業改良普及センター)
 - ・ 現地の状況把握に努め、暗きよの水閘を閉じるなどの指導を行ってきた。
 - ・ 今後の天候や通水状況に応じて適切な営農指導を行う。
- 北海道開発局函館開発建設部)
 - ・ 二級河川からの取水について北海道渡島総合振興局建設管理部と調整し、久根別川第2分水地点に排水ポンプ車を1台派遣。
 - ・ 6月22日より土地改良区に職員を派遣して情報収集。

意見交換

- 渡島平野土地改良区)
 - ・ 場所によっては、ほ場に亀裂が入り、根切れによる生育への影響を懸念。
 - ・ 関係機関の協力を得ながら、拾える水は少しでも拾っていく。
 - ・ 引き続き、関係機関の強烈的な支援をお願いする。
- 函館市)
 - ・ 情報が入っていない状況なので、今後は情報共有をお願い。
- 北斗市)
 - ・ できることは、最大限していきたい。
 - ・ 生産者は、この先どうなるのか不安に思っている。北電から、生産者に対して今後の取組について説明してほしい。
 - ・ 北電が捉えている必要放水量は。
- 北海道電力株式会社函館水力センター)

最大が $4.5 \text{ m}^3/\text{s}$ なので、一日も早く $4.5 \text{ m}^3/\text{s}$ を確保すべく様々な対策を考えていきたい。
- 七飯町)
 - ・ 今回の事象について心配。
 - ・ 北電には最大限の取組をお願い。
 - ・ 町内で自噴する井戸水を使えるよう取り組んでいる。
- 北海道農業協同組合中央会札幌支所)
 - ・ 水稲生産者が安心して営農できるよう、情報収集及び調整をしたい。
- ホクレン農業協同組合函館支所)
 - ・ 被害が拡大し「ふっくりんこ」ブランドの供給不足を懸念。

- ・ 販売用の圃場だけでなく採種圃にも影響が及ぶことを危惧しており、早期の水確保をお願い。
- 新函館農業協同組合)
 - ・ 全体の4割を超える水田が渡島平野土地改良区管内にあり、被害があると深刻な影響があることを懸念。
 - ・ 米の供給は複数年契約で影響が長期に及ぶ可能性があり、一日も早い復旧をお願い。
- 函館市亀田農業協同組合)
 - ・ 今後どうなるかが生産者の一番の不安。情報を生産者に早く伝えることと、一日も早い水の復旧をお願い。
- 北海道農業共済組合道南支所)
 - ・ 札幌の本所に一報を入れ、「農業経営収入保険」及び「農作物共済」でどのような対応になるか判断待ち。
 - ・ 今回の故障の原因究明を早急をお願い。
- 農政事務所函館地域拠点)
 - ・ 現場の状況や求められていることの情報をつなぐ、必要な対策につなげたい。

質 疑

- 北斗市)
 - ・ 調圧水槽へ行く道路の拡幅に要する期間は。
- 北海道電力株式会社函館水力センター)
 - ・ 来週には通行できる見込み。
- 北斗市)
 - ・ 道路整備をしてはじめて0.5 m³/sが放水されるとの理解でよいか。
- 北海道電力株式会社函館水力センター)
 - ・ 現状も小さな車は入れるので、まずは、小さなポンプを配置し、新道川の水が流れるよう整備する。
 - ・ 併せて、大きなポンプ車も行けるように道路を整備している。
- 北海道電力株式会社水力部)
 - ・ より能力の高いポンプ作業車を手配中。

- 北海道農政部)
 - ・ 資料で準備中とされている開発局のポンプ車は、既に手当されていることでよいか。

- 開発建設部)
 - 昨日 14 時過ぎから久根別川で稼働している。

- 北海道農政部)
 - 今後の給水車の手配の見込みは。

- 北海道電力株式会社函館水力センター)
 - ・ 火力発電所からの大型給水車 1 台は今日中に到着予定。仮設ポンプを設置してくみ上げの準備が必要なため、稼働は土日からになる見込み。

- 農政部)
 - ・ 今後、最大 4.5 m³/s のうち、どれくらいの水量まで期待できるか。

- 北海道電力株式会社函館水力センター)
 - ・ 今後の対応次第だが、少しでも 4.5 m³/s に近づきたい。

- 北海道農政部)
 - ・ 引き続き最大限の努力と地域の皆さんへの速やかな情報提供をお願い。

閉 会

- 北海道渡島総合振興局長)
 - ・ 生産者の窮状のほか皆様の意見を踏まえると、北海道電力の取組みに対する期待は非常に大きいので更なる対策を検討願う。
 - ・ 引き続き連携を密にし、必要に応じ今後も開催。